

令和 7 年度しま旅滞在促進事業について

1.実施予定期間

令和 7 年 4 月 1 日～令和 8 年 2 月末帰着を助成対象期間

2.助成金の交付要件

- ① 本土～離島間の交通機関は、助成金算出根拠とする交通機関の利用をすること
- ② 離島各市町に 1 泊以上宿泊すること
- ③ 離島市町で設定した島の体験メニューを実施すること
- ④ 募集型に関しては告知する宣伝物に、下記項目を入れる事
 - ・助成金の説明文
 - ・助成額
 - ・体験メニュー
 - ・本土～離島及び離島間の交通機関を明記(船利用の場合、船種まで記載)
 - ・「青いぜ」のロゴマーク掲出(復活)

3.届出と助成金交付について

対象旅行形態: **全ての旅行形態**

変更内容:

助成金申請及び交付の手続きの取りやめ、助成対象旅行商品の販売計画書を提出する届出制とする。

○届出からの助成金支払いまでの流れは下記の通り

令和 7 年度(案)

「旅行商品届出」(関係書類と提出)

↓ 事務局内(起案・決裁→登録)

旅行会社及び対象商品を事務局が承認

↓

販売開始

↓

各月毎に実績報告(関係書類と提出)

(募集型については販売終了月まで各月の販売状況を調査報告書にて提出)

↓ 支払い(起案・決裁) ↓

助成金支払い

販売状況調査により、助成対象を検討

4.実績報告・請求方法・支払い・・・令和 6 年度と同様

変更点の整理

1. 助成金申請の提出及び交付の手続きをなくします。
2. 旅行会社毎の上限額を示しません。
3. 助成金がなくなり次第終了。
 - ・終了・中止が決まった月以降の催行確定団体については、販売状況調査をもとに検討。
4. 販売見込み額は提出いただきますが全額確保できるとは限りません。
 - ・販売状況調査においてエスコート商品の報告については催行確定分のみ

旅行商品の登録から支払いまでの流れ

しま旅旅行商品の届出に必要な書類

- ・様式第 1 号: 申し込む旅行業者の情報及び販売計画が記載された書式
- ・「助成金算出シート」 募集型については追加して「助成金算出シート 別紙」
- ・行程表を含む企画書

1. 旅行商品販売前

① .しま旅旅行商品の販売計画・助成金見込み額の提出(様式第 1 号・助成金算出シート)

登録しようとする旅行商品の造成数・助成金の見込み額を記入して提出ください。

② .販売前に企画書・広告物の提出

販売前までに登録しようとする旅行商品の企画書及び広告物を提出いただきます。

販売前に「広告物の提出の無い」もしくは、「広告物に下記項目が示されていない」ものについては助成対象としない予定です。

広告物は下記の項目が確認できるようにして提出いただきます。

- ・助成金の説明文
- ・助成額
- ・体験メニュー
- ・本土～離島及び離島間の交通機関を明記(船利用の場合、船種まで記載)
- ・「青いぜ」のロゴマーク掲出(復活)

◎「旅行商品の受理」と「広告物の了承」を受けたものが、しま旅旅行商品の助成対象となります。

2. 旅行商品販売

(販売中に旅行商品の取消もしくは追加・変更する場合は変更届を行うこと)

3. 旅行商品販売後

実績報告・助成金の支払いについては下記書類を提出いただきます。

- (1) 助成金実績報告書(様式第5号)
- (2) 実績書 (別記 1)
- (3) 助成金算出シート
- (4) 宿泊、利用交通機関、体験・着地型旅行商品の旅行会社の証明書(様式第 6 号)
- (5) 形態別関係書類は(1)～(4)に追加して下記の書類
 - ・募集型企画旅行
 - 旅行商品ごとのパンフレット等(原本)
 - ・受注型企画旅行
 - ① 最終行程表
 - ② 旅行契約書又は旅行引受書の写し
 - ・教育旅行
 - ① 最終行程表
 - ② 旅行契約書又は旅行引受書の写し
 - ③ 学校証明書 <別記 2>

予算の執行状況を正確に把握するため、販売状況調査(モニタリング)を実施。

エスコート商品の報告については催行確定分のみ

1.助成金算出シートについて

(1)令和7年度の助成金算出シートの変更点

「募集型」「受注型」「教育」で個々の「算出シート」で提出いただきます。利用は下記の通りです。

①募集型企画旅行

・「販売計画書の届出用」と「実績報告時の実績用」は各用途用に「算出シート」があります。

「販売計画書の届出用」は新規の旅行商品や旅行商品の追加や中止の場合提出いただきます。

「実績報告時の実績用」は実績報告時や販売状況調査報告時に実績を集計時にご利用ください。

併用できませんのでご注意ください。

・届出用には旅行商品の設定内容がわかるように「別紙」をつけております。

②受注型企画旅行

・受注型専用の算出シートで提出ください。届出・実績も同一の算出シートとなります。

③教育旅行

・教育旅行専用の算出シートで提出ください。届出・実績も同一の算出シートとなります。

(2)算出シートの項目について

募集・受注・教育に共通して、算出シートの左側に「提出(登録)番号」「届出(日)」「変更・中止」「内容」を追加しております。

各項目の利用用途について

①「提出(登録)番号」・・旅行商品の登録として、1行が1商品として登録いたしますが、「提出(登録)番号」がその旅行商品の番号となります。

②「届出(日)」・・事務局への提出日となります。様式1号の記入日と同じです。

③「変更・中止」「内容」・・変更申請時に利用します。

2.算出シートの入力要領

(1)各旅行形態共通

「提出」用入力について

○算出シートには旅行商品を1行に1つ記入する。

記入(確認)項目は下記のとおり

・団体名(コース NO)

・旅行実施期間

・訪問地・・訪問地は「○もしくは☆」を選択

・宿泊地・宿泊数・・宿泊地に宿泊数を直接記入

・利用交通機関・・1人当たりの助成額が表示されます

・参加人数・・助成対象人数を入力していただきます

・体験メニュー・・各市町に登録された体験メニューの番号を入力いただきます。

・提出(登録)番号

・届出(日)

(2) 募集型企画旅行団体型(エスコート商品)

○旅行商品の提出用に、令和7年度より、「別紙」をつけております。

別紙利用は下記の通りです。

- ① 各月の設定本数
- ② 遺産関係の立ち寄りの有無の情報
- ③ 本土と離島間の交通機関に**変更のある場合**

ア.ドックダイヤについては別紙ではなく**1つの旅行商品として登録ください。**

イ.航空路利用の場合、福岡経由と長崎経由の利用が両方ある場合、**別紙に記入ください**

※エスコート・フリープランとも荒天時に予定の交通機関の変更を想定しての登録は不要です。

(3)募集型企画旅行個人型(フリープラン)

別紙利用は下記の通りです。

- ①同一市町で**宿泊数が複数(1泊～3泊など)設定**のある旅行商品

算出シートに1泊の宿泊数で記入し、算出シート**別紙に最小宿泊数・最大宿泊数を記入**する。

泊数に制限はありません。ただし、旅行者との契約時点で手配が完了している泊数までが助成対象です。(旅行開始後、現地で延泊されたものについては助成対象となりません)

算出シート別紙記入例

○宿泊数の選択が複数ある場合・・

例)対馬で、1泊～3泊までの旅行商品を販売予定の場合

算出シートに1泊で記入し、算出シート別紙には最小宿泊1泊～最大宿泊3泊と記入

- ②同一市町に**複数の交通機関**を利用する旅行商品

代表的な交通機関を算出シートに記入し、**別紙に想定のある他の交通機関を記入**する。

例)博多港～壱岐 九州郵船利用の場合

利用交通機関が①フェリーの往復②ジェットフォイルの往復③フェリー・ジェットフォイルを片道ずつ利用する旅行商品を販売の場合、算出シートに交通機関を1つ記入し、他の利用交通機関は算出シート別紙に記入し、備考の欄にその説明を記載ください。

算出シート別紙記入例

○交通機関の選択が複数の場合・・・

記入例) 算出シート 選択 博多港～壱岐 Jフォイル

算出シート別紙 記入 博多港～壱岐 フェリー 唐津東港～印通寺港 フェリー

備考の欄に、「このコースは、ジェットフォイルのほかにフェリーを利用する商品があります」と記載(算出シートと同様に番号選択で自動で区間・船種・割引額が出ます)

※同一地域へ行く場合、「航路」と「航空路」は別紙記入ではなく別の旅行商品として入力ください

※エスコート・フリープランとも荒天時に予定の交通機関の変更を想定しての登録は不要です。

(4)受注型企画旅行・教育旅行

- ①受注型企画旅行

・**専用の算出シートに入力ください。**

・利用①新規旅行商品の登録 ②中止や追加コースなどの場合の変更 ③実績報告提出
・番号・届出日の入力をお願いします。

- ②教育旅行

・**専用の算出シートに入力ください。**

・「小学生」「中学生以上」の選択をお願いします。

・学校所在地の入力をお願いします

・利用①新規旅行商品の登録 ②中止や追加コースなどの場合の変更 ③実績報告提出
・番号・届出日の入力をお願いします。